

## 日 薬 臨 時 記 者 会 見 要 旨

日 時：令和6年6月30日（日）13：30～14：10

場 所：ホテルイースト 21 東京 イースト 21 ホール

出席者：岩月会長、森副会長、渡邊副会長、原口副会長、荻野副会長、川上副会長、豊見常務理事、富永常務理事、橋場常務理事、長津常務理事、山田卓郎常務理事、堀越常務理事、川名常務理事、村杉常務理事、山田武志常務理事、田中常務理事、白滝常務理事、小林理事、井深理事、亀山理事、舟越理事、池田理事、小黑理事、山浦理事、小笠理事、山下理事、日高理事

提出資料：

・公益社団法人日本薬剤師会役員名簿（任期：2024年6月30日～2026年6月定時総会終結時）

### 1. 日本薬剤師会新役員の紹介について

小林事務局長により議事が進行され、岩月会長の挨拶に続き、岩月会長より、副会長、常務理事、理事となった役員が紹介された。岩月会長の挨拶は以下の通り。

第104回定時総会で、私を含む理事27人を選任いただいた。いただいた意見や批判を受け止めて、2年間、このスタッフで前へ進めていきたい。

記者からの質問は以下の通り。

記者：新執行部人事について、あらためてどのような観点で行ったか。

岩月会長：斬新性、事業の継続性、人材の育成、地域バランス、若手・女性の登用を軸に、この方に役員になっていただきたいと考えた方を人選した。

記者：今後の会務運営の方向性についてはいかがか。

岩月会長：事業の継続性はもちろんであるが、変えていくべきところは変えていった方がよいと考えている。

記者：新たに常務理事、理事になられた方がいらっしゃるが、起用された狙い、お考えはいかがか。

岩月会長：繰り返しになるが事業の継続性を考えながら、変えるべきところは変えていった方がいいのではないかとこの観点から、新任あるいは都道府県薬剤師会などの推薦によらない形での登用も行った。

記者：若手と女性の登用が多い印象だが、人選においては意識されたか。

岩月会長：前体制の半分以上の方が持ち上がりの人選となったが、これまでの総会で女性の登用などのご意見があり、そういったことを加味した。飛びぬけて若い方を登用したわけではないが、今後の会員の年齢構成を考慮しながら人選した。

**記者：**平均年齢はどのように変わったか。

**岩月会長：**平均年齢は56.1歳から55歳に変わった。女性は3人から6人に増えた。

**記者：**前執行部の総括と、新執行部のミッションについてはいかがか。

**岩月会長：**前執行部の総括は今すぐにできるものではなく、業務を行いながら問題点を抽出することが総括となる。この2年間ですべての課題を解決できるとは考えていないが、突破口を作りたい。時代の変化はこれからもっと早くなる。それにスピーディに対応できる薬剤師会にしていきたい。執行部の考えを素早くスムーズに会員に伝えていく、それも大きな役割だと考えている。

**記者：**前会長は、関係団体との協調をおしゃっていた。医薬品販売制度等、関係団体と温度差があるように見えるが、今後の関係性についてはいかがか。

**岩月会長：**薬剤師の職能団体と、業界団体、立場の違いをどのように埋め、連携を取っていくか、それぞれが薬剤師の職能をどのように発揮していくかを話し合っていきたい。

**記者：**新任の役員の方々から、なぜ選任されたか、どのようなミッションがあるかなどお聞かせいただきたい。(小黒理事は学会出席のため、総会および会見欠席)

**白滝常務理事：**重要な役職に選任いただき、非常に大きな責任を感じるとともに感謝している。様々な方たちとつながりを持ちながら、新たな日薬としての活動ができるのではないかと期待している。精一杯頑張りたい。

**池田常務理事：**これまで埼玉県薬剤師会として、総会で何度も女性の登用を訴えてきた。その中で自身が選任された意味は大きい。女性の登用だけでなく、他にも求められている仕事はあると思う。岩月会長を支えながら仕事に邁進していきたい。

**山浦理事：**現在は大学教員の立場であるが、薬剤師として薬局経営、個店勤務、チェーン店勤務に携わった経験を生かすことが自身に期待されていることだと受け止めている。薬局薬剤師は地域住民に近く、薬剤師の仕事を国民に広く周知するのに良いポジションにいる。精一杯努めてまいりたい。

**小笠原理事：**岩月会長がおっしゃる業務の継続性の面で、これまで10年以上、静岡県薬剤師会の役員を務めてきた経験を活かし貢献していきたい。今後は日薬役員として、国民と会員のために今まで以上に業務に取り組んでまいりたい。

**山下理事：**薬剤師会での経験がない中で選任いただいたことに感謝している。薬局を経営する中で、薬局の存続について日々危機感をひしひしと感じている。タブーはタブーとして教えていただきながら、将来の薬剤師のために何かできればと考えている。

**日高理事：**選任いただいたことに感謝するとともに、非常に重い責任を感じている。代議員の先生方の信任を得て、若い世代に託したい、薬剤師の未来を考えてほしいとの思いを受け取った。最年少かつ初めての6年制薬学部卒の役員として若い視点を生かし、覚悟を持って積極的に取り組んでまいりたい。

**記者：**今回の投票の結果として、候補者全員を選任することに賛成したのは56票。候補者名簿中、一部の候補者を不信任としたのが89票あったことについて、受け止めはいかがか。

**岩月会長**：皆さま方のご理解のおかげで船出をすることができた。ご意見やご批判を受け止め、仕事で見せていくしかない。そのための人選ができた。期待いただきたい。

**記者**：批判を受け止め、期待に応えていくというのは、具体的にどのように応え会務を運営していかれるか。

**岩月会長**：仕事ぶりで判断していただくしかない。薬剤師会で理事として仕事をした経験の無い役員もいるが、経験を積んでいただき育てていきたい。

**記者**：5月27日の都道府県会長協議会では、理事候補者としていた飯島氏と徳吉氏のお二人を守るというご発言があったが、削除するに至った理由をお聞かせいただきたい。

**岩月会長**：お二人については、辞退したいとお申し出があり決意が固かった。理屈で解決できない状況だったため方針を変えた。ご本人たちの意向を現時点で確認したわけではないが、条件がクリアできれば仕事をしてもらいたい人材である。

**記者**：女性の登用というのは見て明らかだが、新執行部の特徴、斬新性については具体的にはどういった点か。

**岩月会長**：半分以上の理事を常務理事に昇格させた。過去にはないことであり斬新と言えるのではないか。これまでの理事としての経験を、業務執行役員としての業務に生かしていただきたい。常務理事は2名増員の予定だったが、結果として10名から11名に増員、理事は3名減の10名となった。業務執行役員を増やすことで業務の均てん化を図ることも特徴である。

**記者**：一條理事が退任されたが、卸のご担当は決まっているか。

**岩月会長**：卸薬剤師部会での取りまとめをお願いすることになる。業務が偏ることになるため、卸担当の理事を置くことは考えていない。

以上